



大阪市立大学 工学部2年 木村優輝

十津川村へ訪れたのは初めてであったし、アゴラセミナーを受講していなければ、訪れることはなかったであろう。しかし、今回の十津川村訪問は私にとって貴重な体験となった。

十津川村へ訪れるまでは盆踊りを軸として、ヤマノカロ(十津川村の武蔵地区で開かれる期間限定のカフェ)の屋台を組む手伝いをさせてもらったり、地元の方々と交流したりすることが大きな目的であると考えており、タイやドイツの人たちが来るのは知っていたが、深くかわかることはないだろうと思っていた。ところが、実際に行ってみると、ドイツ人の留学生

と行動を共にしたり、タイの方々のワークショップに参加したりと外国人と交流する機会が多く、私の中では、非常に深い印象が残っている。今まで、日本人以外とコミュニケーションをとったことはほとんどなかったので、今回の十津川村での交流が初めてとなった。そのため、十津川村に到着した際には、タイの方々がたくさんいることに少し憂鬱と不安があった。しかし、結果としては、言葉のみでのコミュニケーションは難しかったが、ジェスチャー等を用いて何とか意思を伝えることができ、外国人との交流は心配していた以上に楽しいということを発見することができた。



と行動を共にしたり、タイの方々のワークショップに参加したりと外国人と交流する機会が多く、私の中では、非常に深い印象が残っている。今まで、日本人以外とコミュニケーションをとったことはほとんどなかったので、今回の十津川村での交流が初めてとなった。そのため、十津川村に到着した際には、タイの方々がたくさんいることに少し憂鬱と不安があった。しかし、結果としては、言葉のみでのコミュニケーションは難しかったが、ジェスチャー等を用いて何とか意思を伝えることができ、外国人との交流は心配していた以上に楽しいということを発見することができた。

今回の十津川村訪問の大きな目的であった盆踊りについては、事前から楽しみにしていたが、その期待を越えるものであった。踊り自体は難しく、直前に少し練習しただけでは、全く歯が立たなかった。ただ、それを加味しても楽しく、さらに分かる部分があったり、踊れる曲になったりするとさらに気分も高まった。

盆踊りの際は、それまであまり姿を見ることはなかった村人がたくさん集まって、年齢層もバラバラであるにも関わらず一体となって踊っており、非常に楽しい雰囲気であった。十津川村の盆踊りには話を聴いたり、映像を見たりするだけでは到底感じることをできない感覚があった。こういった盆踊りは、伝統を継承していくという点でも、一か所に大勢の人々が集まり、交流を深めるという点でも重要な役割を担っているのだと感じられた。

一方で、盆踊りを完璧に踊れるという人は、村民の中でも一部の人だけであり、その多くが高齢の方であったので、盆踊りを将来世代へ受け継いでいくための運動にさらに力を入れることが必要であると思ったし、踊り研究会の方々の重要性に気づいた。



今回の十津川村訪問では、様々な初体験をすることができ、今まで気にも留めようとしなかったことに積極的に取り組むことで、新しい発見をすることもできた。本当に行ってもよかったと思える内容であった。今後のアゴラセミナーでは自分の興味のある分野以外のことについても真剣に取り組んだり、様々な人々の意見や活動を吸収したりすることで、自分の中で新しい考えを養っていきたいと思う。